

ワケ カタチには理由がある(108)

Shape follows Function
& Taste

～ハインケル He162A サラマンダー～



[テンペストと↓]

[↑Jumo004に換装した機体(架空)]



本機は、WWII 終結際、ドイツ空軍がジェットエンジン(BMW003 エンジン)を搭載する簡易戦闘機として採用したハインケル社

の軽量戦闘機です。背中にエンジンを搭載する仕様から、生産やメンテを容易にするという設計コンセプトが外観に感じられ、とても合理性のあるデザインだと思います。この機体は背中にエンジンが位置するために、パイロットの脱出が問題になりますが、そのための射出座席を搭載していました(なお、射出座席を搭載した WWII の機体は He219, He280, Do335 と本機の 4 機のみです。まさかこれが、『ゴジラ-1.0』で使われるとは!)。ハインケル社の設計陣は、短い開発期間(略3か月)でよくここまでまとまりのある機体を作ったなあと感じる機体です(同じような設定の『ガンダム・イグルー』に登場するオグゴよりはるかにまともw)。ただ、終戦間際に戦場に登場しただけあって、戦闘記録としては英戦闘機(機種不明)を撃墜しながら着陸時にテンペストによって撃墜された記録(ドイツのジェット機によくある被撃墜パターン)がある程度です。松本零士も戦場まんがシリーズ第6巻「悪魔伝の七騎士」の表題作において、本機を登場させていますが、活躍しないのがこの機体らしいですw。

【模型について】

チェコの MPM の 1/72 レジンキットです。1/72 のキットとしては、古くはリンドバーク、レベル(ex フログ)、DML 等があり、このキットも新しくありませんが、最新のスペシャルホビーのキットの原型となったと思われる佳作キットでした。MPM はエンジンの違いや後退翼/V字尾翼機などバリエーションを多数出しており、今回は Jumo004 と BMW003 バージョンをニコイチしてネオジム磁石で換装できるように組み上げました。



(中川裕幸 2024年8月、改定2025年8月)